



学 校 教 育 目 標
 ○進んでやりぬく子 ○えがおで元気な子
 ○広い心でやさしい子 ○6年間を自ら学ぶ子

令和6年度 重点目標
 認め合い 学び合い きたえ合う 末広の子
 ～わたしっていいな！ きみってすごい！～

アイヌ文化学習の目標 【命・人権・自然の大切さを学ぶ】

- 人権教育**： 様々な民族・文化・個性を尊重し合う「共生」の社会を創って行くことの大切さを学ぶ。
- 環境教育**： 自然あってこそその生物・人間であることを実感し、自然を守り共生し、持続可能な社会を創って行くことの大切さを学ぶ。
- 国際協調教育**： 世界の先住民族の文化や生き方に視野を広げ、協調して平和な世界を希求することの大切さを学ぶ。(ユネスコ・スクール 加盟 2011年)

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
ねらい	アイヌ民族は現代社会の中で一緒に暮らしている事を知り、伝統的な歌や踊り、昔のアイヌ民族の子どもの遊びを通して、その楽しさを感じ取る。	自然物を使って、昔のアイヌ民族の子どもの遊び道具を自作して遊んだり、伝統的なアイヌ民族の歌や踊りをさらに知り、表現することの喜びを持つ。	アイヌ民族の伝統的なサケ漁や調理の方法を体験し、千歳や周辺のアイヌ語地名に触れる活動を通して、伝統的なアイヌ民族の暮らしの豊かさや智慧を感じ取る。	昔のアイヌ民族が食物として利用していた植物の栽培・調理の体験を通して、伝統的なアイヌ民族の暮らしの豊かさや智慧、ともに働く喜びを感じ取る。	地域の自然を素材とした伝統的な生活用具等を作る技術を体験したり、祈りを大切にしている様子に接し、現代につながるアイヌ民族の豊かな精神を理解する。	ムックリ・刺しゅう制作からアイヌ文化の豊かさや差別された時代を含む歴史を学び、国際的な先住民族の様子を知り、共生の社会を創ることの大切さを感じ取る。
領域	口承文芸、音楽、舞踏、民具、楽器	口承文芸、音楽、舞踏、民具、狩猟（小弓矢）	サケ文化、サケ素材による衣食、地名に残る伝統	食文化、栽培、調理技術、保存技術 作業唄	衣・住文化、民具、狩猟の文化 精神文化（祈り）	芸術文化、歴史・人権（差別・共生）、国際協調
内容・キーワード	チセ探検、歌・踊り「ウポポ、ホリッパ」、音楽：ムックリ・トンコリの音色、草で作る笛 アイヌ民話絵本の読み聞かせ	アイヌ民族の子どもの遊び、歌・踊り「ウポポ、ホリッパ」、チセで聴く民話の語り、弓矢・輪刺し他、遊び道具（ポンアイ=子ども用の矢）作り	「マレク」によるサケ漁と解体（「サケのふるさと千歳水族館」にて）、サケ料理「チェブオハウ」 地域のアイヌ語地名	イナキビ、ツチマメ（アハ）の栽培・観察、イナキビシト（団子）作り、アハ試食、働く時の唄、チセで聴く食料採集と保存の知恵	シナノキ樹皮はがし→ニペシ（内皮繊維）取り出し→紐作り、アイヌ文様の飾りづくり、チセで祈りの場を見学 鹿呼び笛づくり	ムックリ作りと演奏、アイヌ民族の歴史と人権（差別から共生へ）、アイヌ文様の刺しゅう <財団の副読本を社会科でも活用する>
連携	講師：アイヌ民族文化財団アドバイザー、千歳アイヌ協会・文化伝承保存会 <全学年>	研究機関：アイヌ民族文化財団、北海道大学、北海道教育大学 <全学年>	「サケのふるさと千歳水族館」との連携 社会見学：「千歳さけます事業所」	社会見学：「北海道博物館・北海道開拓の村」（札幌市） <アイヌ民族文化財団の副読本>	千歳市森林組合より木材の提供を受ける <アイヌ民族文化財団の副読本>	修学旅行：「民族共生象徴空間ウポポイ、国立アイヌ民族博物館」（白老町）